

共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(災害軽減研究)

1. 課題番号 2014__-Y- 史料2 (※ 2927)

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文：東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害資料の収集と分析

英文：Collection and analysis of the historical documents about disaster in the Tohoku Pacific Ocean coastal area

3. 研究代表者所属・氏名 蝦名 裕一
(地震研究所担当教員名) _____

4. 参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	参加内容
蝦名 裕一	東北大学災害科学国際研究所・助教	研究統括・史料調査・史料分析
平川 新	宮城学院女子大学・学長	史料分析
佐藤 大介	東北大学災害科学国際研究所・准教授	史料分析
天野 真志	東北大学災害科学国際研究所・助教	史料分析
安田 容子	東北大学災害科学国際研究所・特別教育研究員	史料調査・史料分析

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

研究統括の蝦名は、岩手県沿岸部の野田村・宮古市における古文書調査および遠野市博物館に所蔵されている山奈宗真関連資料の調査・デジタルカメラ撮影を実施した。また、旧気仙郡の歴史資料について調査を続けてきた郷土史研究者と連携し、大船渡市域における歴史資料所蔵者をリストアップした。史料調査を実施した蝦名・安田は史料所在情報をもとに、大船渡市域の歴史資料の所在調査を実施し、26 件を訪問調査した上で、12 件で史料の所在を確認、3 件の史料被災、6 件の史料流失を確認した。また、史料の所在を確認した内、6 件で新出史料を確認した。これらの調査で得られた古文書の画像データを使用して、蝦名・平川・佐藤・天野・安田が史料の解読と分析を実施した上で、蝦名が各種報告会において今回の成果を報告した。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害史料の収集と分析、地震・火山噴火予知研究協議会成果報告会、無

文理融合による災害研究と史料保全、第 10 回人間文化研究情報資源共有化研究会、無

* (平成 27 年夏刊行『人間文化研究情報資源共有化研究会報告集 6』に掲載予定)